

NAGOYA UNIV. OPEN LECTURE

少人数の講義スタイルで、
研究をわかりやすくお話し
します。大学・研究者・
最先端研究が身近に感じ
られるこの機会に、ぜひ
ご参加ください。

入場
無料

要事前
申込み

対象 高校生
*高専生、中学生、大学院進学
検討中の大学生も可

申込 •QRコード
(下記 URL) から
お申込み
・希望の講義の一つ選択し
て登録下さい。



申込受付開始日 2月18日(金)

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/public/openlecture/>

名古屋大学オープンレクチャー2022

3/21
(月・祝)

会場 名古屋大学 東山キャンパス
(受付 13:00 ~) 場所: 理学南館 坂田・平田ホール
*会場定員の半分以上で、密にならないよう配慮して開催します。
13:30 ~ 13:50 名古屋大学概要説明 ほか
14:00 ~ 15:30 公開講義 (各講義室: 当日ご案内)



炭素の構造を分子でつくるはなし

炭素同素体の結晶構造として、ハニカムやダイヤモンド、そして数学的に予見された K4 格子
などが知られています。この3構造の特色を説明し、これらを分子でつくと、さまざまな
基礎物性や2次電池などへの応用が見えてくることを紹介します。

この研究は、科学研究費・特別推進「分子性強等方性構造の化学構築と機能開拓」、他の助成を受けています。

阿波賀 邦夫
理学研究科 教授



太陽面爆発の歴史を探るはなし

最も身近な星である太陽は、時には大きな爆発を起こし、私たちの生活にも影響を及ぼします。
樹木の年輪や氷床コア、歴史文献をもとに明らかになってきた、過去の巨大な太陽の爆発
などについて紹介します。

この研究は、科学研究費・基盤研究 (S) 「過去1万年間の太陽活動」、他の助成を受けています。

三宅 美沙
宇宙地球環境研究所 准教授



量子が変える新しいコンピュータのはなし

量子とは、さまざまな物理現象に現れるエネルギーの最小単位です。
量子の持つ特異な性質を利用すると、全く新しいコンピュータを実現で
きます。超伝導をつかった量子を操るコンピュータについて、原理から
最前線までお話しします。

この研究は、科学研究費・特別推進研究「パルスを情報伝達担体とする超低電力100GHz級超伝導量子
デジタルシステムの探求」、科学研究費・基盤研究 (S) 「量子超越性を実証する超伝導スピントロニクス
大規模量子計算回路の創出」、JST・CREST「人工スピンで作る柔らかさ可変の担体による高エネルギー
効率情報処理」、他の助成を受けています。



藤巻 朗
工学研究科 教授



山下 太郎
工学研究科 准教授



田中 雅光
工学研究科 助教

*新型コロナウイルス感染防止対策にご協力願います。
*お付き添いの方は講義に参加できません。別室でお待ちいただきます。
*新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、急遽変更となる場合がございます。

お問合せ: 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
TEL: 052-747-6527
E-mail: outreach@aip.nagoya-u.ac.jp